

2025.02.16

跳躍パート 活動報告

跳躍パートキャプテン 柴田駿吾

跳躍パートのパートキャプテンを務めております2年の柴田駿吾と申します。まず、この場をお借りして、日頃から陸上競技部の活動を支えてくださる OBOG の先輩方に心より感謝申し上げます。皆様のご支援、ご協力により私たち部員は日々練習に励むことができます。この度は跳躍パートの今シーズンの目標と併せて近況の報告をさせていただきます。

2024 年を振り返りますと、七大戦においては跳躍4種目のうち、男子では2種目で優勝をはじめ、出場した選手のうち半数以上が得点を獲得し、女子も得点まであと一步のところまで迫ることが出来ました。さらには日本インカレという大舞台において自身の自己ベストを更新した島村(3)をはじめとして、大幅な自己ベスト更新を達成した部員が多数おり、昨シーズンは多くの部員にとって実り多きシーズンであったと言えます。

来シーズンに向けて跳躍パートは、「対抗戦で全員得点」という目標を立てました。学部生は七大戦、院生は東北インカレなどでの得点を目指します。その目標に向けて、各部員が自分に必要な練習メニューを考え実践しています。「この練習は跳躍のこの局面の動きを自動化させるために行う」、「この練習は跳躍のこの局面で使うこの筋肉を鍛えるために行う」。当たり前のことで、突き詰めればきりがいいことではありますが、特にこの冬はこれらのことを意識して練習に励むことが出来ており、そのため多くの部員が充実感に満ちた顔をしているのではないかと私は感じております。残りの冬季シーズンを怪我なく乗り越え、来シーズンの結果を残したい大会に照準を合わせて挑めるよう精進して参ります。

OB・OGの方々におかれましては、これからも応援のほど宜しくお願いいたします。